

潮来で暮らす

地域おこし協力隊



びっくりするくらい人が温かい

昨年8月に潮来市地域おこし協力隊に着任しました。昨年の春までは、水戸市で働き、その後、地元の札幌に戻りましたが、どうしても茨城のことが忘れられず、潮来市にやってきました。大好きな茨城の中で、潮来を選んだ理由は、鹿行地域に興味があったからです。これまで住んでいた県央地域とは違った経験ができるという期待を胸に決断しました。潮来に住んで一番思ったことは、びっくりするくらい人が温かいことです。どこにいても、街中の人が「こんにちは！」「おはよう！」と声をかけてくれます。また、趣味のバイクで田んぼ

沿いを走っていると、田植えや稲刈りの時期など、都会にはない四季折々の香りの変化を感じます。こういった「潮来の人の温かさ」や「潮来の香り」を、県内外にアピールしていきたいです。私を見かけたら、いつでも声をかけてほしいです。市民の皆さんと交流して、潮来の魅力をどんどん掘り起こしたいです。

断りました。潮来に住んで一番思ったことは、びっくりするくらい人が温かいことです。どこにいても、街中の人が「こんにちは！」「おはよう！」と声をかけてくれます。また、趣味のバイクで田んぼ



潮来市地域おこし協力隊 佐藤 彩希さん  
(札幌市→潮来市)

## 豊かな自然 美味しいお米

昨年8月に地域おこし協力隊に着任しました。高校までを日立市で、大学と就職を東京で過ごしたのち、茨城に戻ってきました。潮来は以前から知っていましたでしたが、実際に足を運んだのは、協力隊になってからです。日立市出身の私は、東京で生活をしていく中で改めて茨城の魅力を実感しました。そんな魅力溢れる茨城のためになるような仕事をしたいと思い、協力隊になることを決めました。その中で潮来市を選んだ理由は、「キーマン」という自分の仕事に誇りを持って地域で活躍されている方々と、自分も一緒に潮来を盛り上げていきたいと



潮来市地域おこし協力隊 森山 健吾さん  
(東京都→潮来市)

思ったからです。潮来は、利根川や北浦、霞ヶ浦など自然が豊かです。そして、お米が本当に美味しい。新米の一番星を初めて食べたときの感動は今でも忘れられません。こんなにも美しい自然や美味しいものが、潮来にはあることをもっとPRしていきたいです。

思ったからです。潮来は、利根川や北浦、霞ヶ浦など自然が豊かです。そして、お米が本当に美味しい。新米の一番星を初めて食べたときの感動は今でも忘れられません。こんなにも美しい自然や美味しいものが、潮来にはあることをもっとPRしていきたいです。

都市でPR!

1月20日(日)東京ビックサイトで開催された「移住・定住促進フェア」で地域おこし協力隊のブースを出展し、新たに1名の隊員募集のPRを行いました。

来場者からは「潮来はどんなところですか?」「潮来市の魅力はなんですか?」などの質問をいただき、お一人お一人にお答えしました。

今年度も、隊員の募集や移住促進をはじめ、都市部で積極的に潮来市の魅力をPRします。



### SNS情報発信中!

公式Youtube「いたこ知っちゃお!」  
や各種SNSで情報発信中!  
フォローおまちしています!



Facebook



Twitter



Instagram

潮来市地域おこし協力隊

検索